

令和 7 年 8 月 29 日

平塚市美術館改修の実施について

1 背景

平塚市美術館は「湘南の美術・光」をメインテーマとし、市民が芸術作品に日常的に接し、感受性を高めて情操を養い、心豊かにして「生涯学習の拠点となる恒久的な機関」として平成 3 年 3 月に開館した。開館後、多くの市民に親しまれ、令和 6 年 3 月末までに 280 万人を超える方々に展覧会を御観覧いただいている。

築 33 年を経過し、近年施設や設備の老朽化により、展示室やエントランス、事務室等で雨漏りが発生しているほか、空調設備等の老朽化など、市民の大切な財産である美術作品を保管・展示する建築物として大きな不具合を生じている。

所在地	平塚市西八幡 1-3-3
敷地面積	12,677.57 m ²
建物延面積	7,181.39 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造

2 劣化度診断及び平塚市公共施設等個別施設計画

(1) 劣化度診断

平成 29 年度に建設時の設計者である（株）日建設計に委託し、劣化度診断を実施。調査結果は次のとおり。（抜粋）

- ・建築・設備とも経年劣化が進行している。
- ・外構ではアプローチや池回りの床材のクラック等への早急な対応が必要。
- ・館内各所での早急な漏水対応が必要。
- ・受変電設備や動力制御盤、電灯分電盤等の設備更新について、今後計画的に実施することが望ましい。
- ・機械設備では、空冷チラーと中央監視盤を除くほぼすべての機器類、配管類が耐用年数を超過しており、大規模修繕すべき。特にパッケージ空調機と冷温水配管の劣化への早急な対応が必要。

(2) 平塚市公共施設等個別施設計画

平塚市美術館の建物は耐震基準を満たしていることから、施設の長寿命化を図るため、上記 2 (1) の劣化度診断における指摘事項の解消を目指し、「平塚市公共施設等個別施設計画（令和 3 年策定）」において、「建物外部・外構」と「建物内部・設備機器」の 2 期に分けて設計・工事の実施を計画

3 改修工事に向けた基本計画の策定と基本・実施設計の着手

令和6年6月、(株)日建設計へ改修工事に向けた基本計画策定業務を委託。

上記個別施設計画のとおり、「建物外部・外構」と「建物内部・設備機器」の工事を2期に分けた場合、どちらの工事中も休館を余儀なくされるため、合わせて設計・工事を進めた方がよいとの(株)日建設計からの提案を受け、2期に分けずに合わせた工事とする基本計画を策定。令和7年1月からは、改修の設計コンセプトや構造の基本的な設計を行う基本設計の策定に着手し、現在はアスベスト含有分析調査を踏まえた内容整理をしている。基本設計完成後は、令和8年2月を目途に詳細な仕様書や図面のほか費用見積り等を盛り込んだ実施設計を策定する予定である。

<工事実施箇所>

工 事	工事箇所等
建 築	防水工事（展示室1屋上、ドーム屋根、屋外彫刻展示広場、各所堅桶、アトリエ廻り屋上、ライトコート屋上、レストラン屋上） 外装補修工事（全面）、内装水廻り工事（各所トイレ、湯沸室）、 内装共用部天井塗装替（エントランスホール、テーマホール）、 内装改修・更新（燻蒸室、地下機械室、污水槽、蓄熱槽）、 内装改修（2階展示室1・2、1階市民アートギャラリー、アトリエA・B・C、情報コーナー）、外構工事・更新（エントランスポート、外構通路全般、西側歩道、池、フェンス）、昇降機部品交換等
電気設備	高圧引込設備、高圧受変電設備の更新、直流電源設備の更新、幹線設備の更新、動力制御盤及び二次側配管・配線の更新、分電盤及び全館LED照明への更新、雷保護設備の更新、バリアフリートイレの改修に伴う誘導支援設備の設置、テレビ共同受信設備の更新、非常放送設備の更新、自動火災報知設備の更新、内装改修に伴う各種電気設備改修等
機械設備	熱源設備更新、配管設備更新、空調機設備更新、空調ダクト設備更新、換気設備更新、中央監視設備更新、自動制御設備更新、給水設備更新、給湯設備更新、消火設備更新、衛生器具更新等

4 スケジュール（現時点では実施設計を終えていないため以下は予定）

令和8年 2月 設計の完了

令和8年 6月 本体工事費用を6月定例会で補正予算要求

令和8年 8月 改修工事発注公告

令和9年 1月 休館開始

令和11年4月予定 リニューアルオープン

以 上